
「Impella 導入症例における血液粘度と溶血の関連性」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検査データを用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター 臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2018年4月1日から2025年10月1日の期間にて、当院で Impella (補助循環用ポンプカテーテル) を導入し ICU 病棟に入院した 18 歳以上の成人患者さんを対象としております

2. 研究の目的

導入前の採血データから血液粘度を推定し、高粘性症例とその他の症例の患者背景・入院時検査情報を比較することで、血液粘性と溶血の関連を調査します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月01日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より1か月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者情報(年齢、性別、BSA、既往の有無)、当院で施行された検査・治療、集中治療室入室後の検査データ(採血・凝固スコアなど)、急性腎障害の発症の有無を調査します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である神成千穂が、個人が特定できないよう加工したうえで管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

当院において、Impella(補助循環用ポンプカテーテル)の導入を行い入院を要した患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

・埼玉医科大学国際医療センター 臨床工学部 神成千穂(研究責任者)

4. 試料・情報の管理責任者

・ 埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 臨床工学部 神成千穂

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-0564(土日祝日を除く 8:30~17:30)

○研究課題名：Impella 導入症例における血液粘度と溶血の関連性

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 臨床工学部 神成千穂